

新ケミカル商事(株)

化学品、製鉄関連、樹脂、建材、アグリの5事業を展開する専門商社の新ケミカル商事(株)（北九州市小倉北区京町3丁目）は4月から、上田幸二郎社長による新体制がスタートした。「今年は2050年までの中長期計画『NCT/ムーンショット計画』の2年目。計画達成を左右する重要な年であるため、2030年度の売上高1,500億円、最終年度の3,000億円に向けて、スピード感をもって実行したい」と抱負を語る。23年の建材、24年のアグリに続き今年は樹脂セグメントで組織再編を実施し、「NCTマテリアル(株)」を設立。グループ間でのリサイクル技術やノウハウを集約させ、営業、製造機能の強化

中長期計画達成に向けて展開加速

や効率化を進める。

北九州市は、マイクロソフトやアップル、グーグルなど世界有数のIT企業が集まるインド・テランガナ州でのエコタウン建設に向けて、官民で協力することを発表。そのプロジェクトに北九州に拠点を置く企業5社が意向表明し、うち同社もこれまでの事業で培ったリサイクル技術、SDGsなどのノウハウを生かし、相互協力することを決めた。また、北九州市立大学ともカーボンニュートラル実現に向け、研究開発などに関する連携を開始。開発テーマの事業化に向けて地域と協同し、産業廃棄物など未利用資源の有効活用など新商材の開発に力を注ぎ、2023年度

には30%だった環境商材比率を2030年に50%まで拡充を目指す。

地域貢献活動として、ギラヴァンツ北九州やボルク

バレット北九州などの地元スポーツチームへの協賛のほか、北九州音楽協会など文化振興も支援する同社。今後もスポンサー活動を継続していくほか、昨年から開始した新卒採用による地元雇用の創出を拡大し、「北九州から全国、そして世界へ」存在感を示す。



上田 幸二郎
新ケミカル商事
社長